

# 京都府立医科大学 創立百五十周年記念誌







大学全景（鴨川下流から撮影：2022年7月）

ごあいさつ

# 京都府立医科大学 創立150周年記念に 当たって

京都府立医科大学  
学長  
竹 中 洋



京都府立医科大学が粟田口青蓮院に仮療病院として設置された明治5(1872)年から令和4(2022)年で、150年が経過しました。奇しくも昨年の9月5日に文部科学省の「学制150年記念式典」に出席する機会を得ました。「150年記念」が示すように本学の起源は、大学をはじめ日本の教育大系を定め指導する法令の成立と時を同じくすることになります。この重なりは、本学の先人のご苦勞或いは設置者である京都府の決意などが、医学教育や医師国家試験などにおいて、我が国の先達(パイオニア)である本学の使命であったと確信されます。

令和3(2021)年に大学昇格100年を迎えたことは、正しくは創設から半世紀に亘って、京都府医学校、京都府立医学校(共に甲種医学専門学校)と校名を変えながら本学は、道なき道の開拓に携わってきたのです。同時期に設置された幾つかの西洋医学導入の試みの中で、唯一、大正10(1921)年に大学令による公立大学単科医科大学として認可を受け、今日に至っています。今年は大学昇格102年に当たります。

或いはこの記念誌がお手許に届くのは、正しくは151年目に当たります。私たちは節目を通過しています。重要なことは、「継承し創造する未来」と表現されている新しい京都府立医科大学の vision を示すことだと思います。令和4(2022)年10月1日に改訂された大学設置基準では、教育の質保証に大学自らが取り組み『学修者主体の教育』の為の教育環境整備が求められています。また、高大接続の中で大学が積極的に多様な入試を企画し、多様な学生による触発を大学の推進力にするべしとの考えが示されています。既に私学は言うに及ばず旧帝大の医学部医学科でも多様な入試の採用は試行を過ぎ定着してきていると考えられます。初等・中等教育の新課程修了者が受験をするのが令和7(2025)年度からです。本学で学びたい、本学で学んで欲しい人達が入学していますか。

本学の将来像を明確にする時期が今ここに来ています。温故知新の精神を基本に次代の医学・医療人材の育成と、それを通して課題解決に沿った研究展開を続けて参ります。

---

祝辞

# 京都府立医科大学 創立150周年によせて

京都府知事  
西脇 隆俊



京都府立医科大学が、創立150周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。竹中学長をはじめ歴代学長、関係の皆様のご御尽力に対し、厚くお礼申し上げますとともに、深く敬意を表します。

京都府立医科大学は、明治5(1872)年に仮療病院として始まり、明治36(1903)年に京都府立医学専門学校を設立され、大正10(1921)年の大学昇格を経て、令和4(2022)年で創立150周年を迎えられました。その長い歴史の中で、医学・医療を取り巻く状況の変化に対応しながら、「世界トップレベルの医学を地域へ」という理念のもと、質の高い教育研究や優秀な医療人の育成に大いに貢献されておられます。

大学附属の病院についても、地域の医療を支える拠点として、地域医療の充実に多大な役割を果たしてこられたのをはじめ、高度ながん治療及び研究のための「永守記念最先端がん治療研究センター」の運用を開始されるなど、高度で先進的な医療や最先端の研究を推進されているところです。

また、新型コロナウイルス感染症への対策においては、府内唯一の第一種感染症指定医療機関として、重症患者への医療提供体制を構築いただくとともに、府内医療機関に医師・看護師を輩出いただくなど、重要な役割を果たしていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

京都府といたしましても、新型コロナウイルス感染症対策を含め、府民が安心できる健康・医療の充実に向けて、引き続き全力で取り組むとともに、京都府立医科大学が、ますます高度化・多様化する医療ニーズに応える大学として発展し、今後とも、高度な医療や看護を支える人材の輩出に努めていただくとともに、地域医療の中核として一層力を発揮できるよう支援してまいります。

結びに当たり、京都府立医科大学が、創立150周年を契機に、今後ますます発展されますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 目次

ごあいさつ 京都府立医科大学学長 竹中 洋	004
祝辞 京都府知事 西脇隆俊	005

## 第1部 歴史、その流れと瞬間

写真でふりかえる京都府立医科大学の150年	014
創立150周年を祝う	027

## 第2部 創設期の歴史的考察、平成から令和の時代へ

1. 創設期の歴史的考察	
療病院・医学校新史 八木聖弥	036
初期の療病院と京都府民の医療 小林啓治	074
2. 平成から令和の時代へ	
ディオバン臨床研究不正事案を振り返って ——研究の質保証と臨床研究支援に対する京都府立医大としての取り組み—— 伏木信次	077
法人化と教養教育の変遷および三大学教養教育共同化について 小野勝彦	089
京都府立医科大学と医学教育：これまでの15年、これからの50年 山脇正永	093
高等教育改革にもとづく大学認証評価の導入 奥田 司	098
本学の国際学術交流の歴史 水野敏樹	104
本学附属病院における新型コロナウイルス感染症に対する対応 夜久 均	110
脳・血管系老化研究センター創立30周年を迎えて 伊東恭子	119

## 第3部 寄稿／教育・研究・診療のあゆみ

1. 歴代学長	
我が母校の創立150周年を祝って 佐野 豊	122
維新と日本近代医学のあけぼの 藤田哲也	125
京都府立医科大学の新しい発展を祈念して 井端泰彦	130
京都府立医科大学150周年記念によせて 山岸久一	132
150周年を記念して 吉川敏一	134
2. 名誉教授	
母校創立150周年を祝う 吉田幸雄	139
京都府立医大外科の歴史を想う——独創と変革を目指して—— 高橋俊雄	142
本学における脳神経外科の萌芽から脳神経外科学教室への発展 上田 聖	145
消化器内科学教室100年の歩み 加嶋 敬	148
教室創りに没頭の日々 そして本学のさらなる発展によせて 中島健二	151
京都府立医科大学創立150周年を寿ぐ 本庄英雄	155
変わったもの、変わらないもの 高松哲郎	158
大学創立150周年誌を祝して——在職時の思い出—— 三木恒治	162
医学に医学原論(医学哲学)がないという摩訶不思議 棚次正和	165
医学生、20歳の原点——解剖学から顧みる基礎1号館—— 河田光博	168
京都府立医科大学精神医学教室に勤務して 福居顯二	173
伝統とは変革の連続である——移植外科の歩み 吉村了勇	176
京都府立医科大学創立150周年に思いを寄せて 丸中良典	179
京都府立医科大学とともに歩んだ半世紀 久保俊一	182
医療センターのあゆみ 平成10(1998)年度～平成30(2018)年度 渡邊能行	186
京都府立医科大学創立150周年に寄せて ——地域医療とリサーチマインド—— 中川正法	190
「看護における Heart・Hand・Head」に思いを馳せて 種池禮子	192
3. 元事務局長／前看護部長	
貴重な思い出の1年間 草木慶治	196
医大の歴史と大学・病院整備 そして法人化 兒玉幸長	198
看護部組織と看護師教育の変遷 小城智圭子	200
協定校からのメッセージ	202
学生今昔	204

## 第4部 新時代への飛翔

### 1. 未来へのメッセージ

#### 〈研究〉

- 世界に発信する角膜の再生医療 木下 茂 …………… 210
- 世界に発信した研究成果と展望 酒井敏行 …………… 216

#### 〈教育〉

- 本学医学教育の現在と未来 天谷文昌 …………… 222

#### 〈臨床〉

- AI ホスピタル構想 加藤則人 …………… 225

#### 〈地域貢献〉

- 附属北部医療センターの果たしてきたことと今後果たすべき役割 落合登志哉 …… 227

### 2. 未来を動かす：未来への提言

- 横のつながりを育む 北山 修 …………… 230
- 実験医学のすすめ 岡村 均 …………… 233

### 3. 学生からのメッセージ

- 京都府立医科大学の現在と未来に求められる学生像および卒後のあり方 森田 輝 …… 238
- 未来の府立医大、そして未来の私へ 井田 学 …………… 240
- 創立150周年の京都府立医大に思うこと、出来ること、学生として 竹中 桜 …… 242
- 京都府立医科大学で学ぶということ 松尾香那 …………… 244
- 助産師として未来に向けてかなえたいこと 古谷 桃 …………… 245
- 保健師として目指す姿 米岡かすみ …………… 246



## 第5部 教室部門史／大学院医学研究科・医学部医学科のあゆみ

分子標的予防医学	248
地域保健医療疫学	250
法医学	252
救急・災害医療システム学	254
総合医療・医学教育学	257
医療フロンティア展開学	259
生物統計学	261
医学生命倫理学	263
生命基礎数理学	265
小児科学	267
小児外科学	270
女性生涯医科学	273
医療コミュニケーション学	276
ゲノム医科学	279
分子生化学	282
創薬医学	285
分子病態感染制御・検査医学	287
分子診断・治療医学	289
免疫内科学	291
内分泌・代謝内科学	293
循環器内科学・腎臓内科学	296
呼吸器内科学	299
消化器内科学	301
血液内科学	304
脳神経内科学	307
皮膚科学	309
形成外科学	311
生体構造科学	313
生体機能形態科学	316
細胞生理学	319

統合生理学	321
物質生命基礎科学	324
神経発生生物学	325
基礎老化学	327
人体病理学	330
細胞分子機能病理学	332
分子病態病理学	334
感染病態学	337
免疫学	340
病態分子薬理学	343
精神機能病態学	346
放射線診断治療学	349
医系化学	352
消化器外科学	354
移植・再生外科学	357
内分泌・乳腺外科学	359
心臓血管外科学	362
呼吸器外科学	364
脳神経機能再生外科学	367
運動器機能再生外科学	370
リハビリテーション医学	372
視覚機能再生外科学	374
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	377
泌尿器外科学	379
麻酔科学	382
疼痛・緩和医療学	385
歯科口腔科学	387
細胞再生医学	390
医学研究方法概論——中央研究室 RI センター RI 部門	392
医学研究方法概論——中央研究室実験動物センター	394
医療レギュラトリーサイエンス学	396

## 第6部 看護学科・保健看護学研究科のあゆみ

医学部看護学科・保健看護学研究科の歴史を振り返る ——黎明期の看護教育—— 滝下幸栄 .....	400
看護学科・保健看護学研究科のあゆみと展望 岩脇陽子 .....	406
臨床健康科学 .....	408
小児発達保健学 .....	409
女性生涯保健学 .....	410
基礎看護学 .....	411
看護倫理・管理学 .....	412
成人看護学 .....	413
精神看護学 .....	414
小児看護学 .....	416
がん看護学 .....	417
母性看護学・助産学 .....	418
老年・在宅看護学 .....	419
地域看護学 .....	420
看護実践キャリア開発センター .....	421

## 資料編

歴代管理職 .....	424
歴代教授 .....	425
予算規模の推移 .....	432
科学研究費(文部科学省・厚生労働省)の獲得状況 .....	433
科学研究費以外の外部資金の獲得状況 .....	433
入学試験受験者数・競争率の推移 .....	434
「京都府立医科大学機能整備計画」について .....	436
年表 .....	444
創立百五十周年記念誌の編纂にあたって .....	458

## 凡例

1. 本書の記述は、原則として2022(令和4)年12月までとした。
2. 用字用語は常用漢字、現代かなづかいを用いたが、慣用句、専門用語などは、これによらないものもある。
3. 引用文は原則として原文通りとした。
4. 人名、会社名、地名などは原則として新字体とした。
5. 人名、施設名、組織名は原則として敬称を略した。